平成29年10月20日発行（毎月1回20日発行）

ふるさとへの思いと絆をつなぐ広報誌

10 2017 October No.77

ふるさとだより

久之浜・大久、四倉、平、小名浜、勿来

五穀豊穣・無病息災を願い、獅子が舞う

表紙から Message

9月3日、小名浜鎮守諏訪神社の例大祭「夏祭 ささら奉納」が境内で執り行われました。岡小名ささら保存会のみなさんが「ささら」と呼ばれる棒術と三匹獅子舞を、また、いわき居合道部会のみなさんが居合道を奉納。わかぎ幼稚園児によるメイポールダンスも披露され、祭りに花を添えました。

小名浜

各地区トピックス

久之浜 大久

久之浜・大久十五夜祭

四倉

大浦小で地域ふれあい会

平

豊間小・中で避難訓練

勿来

錦町須賀地区で植樹祭

ふるさとだよりの記事が動画で!!

マークのある記事にスマホやタブレットをかざすと動画が見られます！（見方はP8）

ふるさとの未来へ向けて

一足早く月見の宴 久之浜・大久 十五夜祭

9月3日、浜風きららで久之浜町商工会主催の久之浜・大久十五夜祭が開かれ、大勢の来場者で賑わいました。

夕方4時にスタートすると、子どもたちは、スーパーボールすくいや輪投げを楽しみ、餅つき体験に大喜び。大人たちは、日本酒を味わったり、足湯に浸かったりしながら知人と笑顔で語らう姿が見られました。

商工会青年部の阿部冨士夫さんは「中秋の名月には早いけど、多くの方々、特に子どもたちが来てくれて嬉しい」と話していました。

親子連れで賑わった十五夜祭。子どもたちは餅つきに夢中

地域とともに生きる

浜風きらら株式会社
代表取締役
高木 重行さん

浜風きららを人が集う賑わいの場に

「浜風きらら」オープン当時は工事中だった郵便局も今夏に営業を開始し、すべてのテナントが出揃いました。町民には買い物や飲食など、日々の利用を働きかけ、時折イベントを開催して集客を図っています。さらには、いわき北部の観光客誘致を推進するために、道の駅よつくら港やワンダーファームとの連携に向け、協議会を発足させました。アンモナイトセンターや海竜の里、相双地区も含めた施設の連携をめざし、浜風きららに多くの人が集い、未来への希望の灯となれるよう活動していきたいと思っています。

平成29年4月のオープンから半年が過ぎた浜風きららと高木社長

私たちのふるさとへの願い

糠塚 菅原マキイさん・紀友さん

大久町小久 小島剛さん

久之浜・大久ピックアップ

もしもに備える 避難訓練

9月24日に行われた市総合防災訓練。大久地区では土砂災害を想定した避難訓練が行われ、避難場所となった大久公民館では防災講話も行われました。

熱心に耳を傾ける参加者のみなさん

元気に演奏 方部音楽祭

9月13日、四倉・久之浜、小川・川前方部小学校連合音楽祭がいわき芸術文化交流館アリオスで開かれ、久之浜一小、二小が参加。元気に演奏を披露しました。

軽快に演奏する久之浜二小の児童

広島大学が末続視察

8月29~30日、広島大学フェニックスリーダー育成プログラム一行が末続を訪れ、放射線防護に関する地区の取り組みと堤防等の復興状況を視察しました。

除染廃棄物仮置き場を見学する一行

ふるさとの未来へ向けて

四倉南団地で初めての垂直避難訓練

9月24日に行われた平成29年度市総合防災訓練は、午前8時30分に震度5弱の地震が発生し、沿岸部への津波警報の発令と、前日からの雨で土砂崩れの前兆現象が発生したとの想定で実施されました。

四倉地区では、参加者が最寄の津波避難場所への避難を経て、避難所になっている四倉高体育館へ移動しました。

大浦地区では参加者が津波避難場所へ避難したほか、津波避難ビルに指定されている公営住宅四倉南団地では、階上への垂直避難訓練を初めて行いました。

初めての垂直避難訓練で、四倉南団地の階段を上る参加者

地域とともに生きる

四倉アーカイブズ
代表
緑川 健（たけし）さん

貴重な記録映像を編集、上映

本業の傍ら四倉アーカイブズを立ち上げて、先人が残した昭和30年代の四倉の町並みや年中行事などを記録した8ミリフィルムの編集作業をする一方、地域学講座の四倉学や四ツ倉駅周辺探険ツアーでは講師を務めました。編集した映像は、四倉町商工会や市民グループなどと協力して、地域のイベントなどで、上映会を行っています。映像を観た方が、活気があった頃の町の様子を知ることで、震災後の四倉がどうあるべきかを考えるきっかけにもなればと思っています。

イベントで講師を務める緑川さん（9月17日、四ツ倉駅周辺探険ツアー）

私たちのふるさとへの願い

西三丁目　渡辺啓さん

四倉中PTA会長　根本弘樹さん

四倉ピックアップ

児童と地域の交流事業

9月12日、大浦小で地域ふれあい会が開かれ、住民のみなさんが講師となり、絵手紙、あやとり、藁細工、囲碁、将棋など9つの講座を行い、児童たちと交流しました。

囲碁に初めて挑戦する児童たち

公民館で土曜学習が開催

9月9日、四倉公民館で土曜学習「四倉っ子キラキラ学び隊」が開かれ、四倉小の1～3年生が四倉音頭を習い、4～6年生が火おこし体験などを行いました。

見よう見まねで踊る児童たち

新町通りでホコ天

9月3日、新町通りで四倉新町歩行者天国が開かれ、来場者は四倉音頭やカキ氷の早食い競争などのアトラクションや、模擬店での買い物などを楽しみました。

会場を盛り上げたフラダンス

ふるさとの未来へ向けて

豊間小・中学校で合同避難訓練

中学生が小学生の手を引いて避難

9月6日、豊間小・中学校合同で、地震、津波を想定した避難訓練が行われました。震災後、夏休み前までは、同じ校舎で勉強していた児童、生徒たち。中学校新校舎が供用されてから、初めての合同避難訓練になりました。

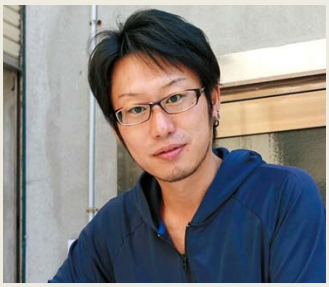
この日は、あいにくの雨で校庭が使えず、小学校体育館へ一時避難し、小・中学生が合流。その後、津波警報が出された想定で、中学校校舎3階へ、中学生が小学校低学年生の手を引きながら避難しました。

私たちのふるさとへの願い

豊間　井上さん・新妻さん

豊間　山崎信夫さん

地域とともに生きる



水産食品製造販売業
比佐　努さん

家業・地域伝統を次世代へ繋ぐ

今年7月、父が他界し、沼ノ内にある水産加工の家業を引き継ぎました。震災前はシラスや小女子などの小魚も扱っていましたが、漁業の本操業がまだ整わない現状もあり、再開の目処が立っていないため、現在のメインはひじきです。

また青年会OBとして地域の行事に携わることもありますが、震災前と同じような活動ができず、とても残念です。

父から受け継いだ家業や地域の伝統など、次の世代に繋ぐ前に消えてしまわないように、周りの方々から多くを学び、伝えていきたいと思っています。

海まち・とよま市民会議でも活躍する比佐さん（奥左）

平ピックアップ

第2回海まち・フォトコン

海まち・とよま市民会議では、昨年度実施された海まち・とよまフォトコンテストを市内の全海岸部を作品の対象にして、第2回の開催を決定しました。

詳しくはQRコードから

介護施設で交流会

9月24日、豊間地区に新設された介護施設で、地域住民や入所者、スタッフなどの親睦を図る芋煮祭が開催。さまざまな催し物を楽しみながら交流を深めました。

歓声があがった華麗なチアダンス

カードゲームで防災学習

9月5日、豊間小児童を対象に、防災学習を実施。東北大学が開発した「減災カードゲーム」を用い、災害時の正しい対処方法を楽しみながら学習しました。

カルタのように使用する減災カード

ふるさとの未来へ向けて

安心・安全な社会へ「防災学習会」開催

7月に続き、江名中で「防災学習会」が行われました。第3回（8月25日）では、防衛省自衛隊福島地方協力本部職員を講師に、東日本大震災時の活動や防災に関わる仕事について学習。第4回（9月1日）では、県いわき建設事務所職員を招き、永崎海岸の防潮堤の役割や防災緑地の機能について理解を深めました。

また、9月12・13日には、3年生を対象に日本赤十字社による防災教育プログラムが開かれ、自然災害に関する正しい知識などを学びました。

自ら考え、協力しながら課題に取り組む生徒たち

地域とともに生きる

江名地区まちづくり協議会
会長
速水 春雄さん

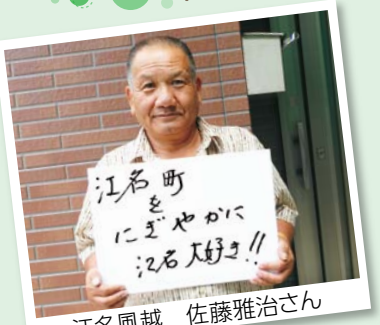
地域の復興支援と町おこしのために

当協議会は、平成13年に「地域住民が誇れる郷土作り」に貢献することを目的に設立しました。震災をきっかけに住民が減ってしまい、活発な活動は出来なくなりましたが、現在は、漁業や郷土芸能の歴史を伝承していくとともに、地域復興のために頑張っている地元の団体のために、イベントの情報発信や活動のサポートをしています。

また、今年度は江名地区の写真展の開催を考えており、少しずつでも地域のために貢献していきたいと思っています。

今年6月29日に江名公民館で行われた「平成29年度 江名地区まちづくり協議会総会」で挨拶をする速水さん

私たちのふるさとへの願い



江名風越　佐藤雅治さん

江名北口　菅野一幸さん

小名浜ピックアップ

市総合防災訓練実施

9月24日に実施された、市総合防災訓練。対象となった江名地区では、住民が避難経路を確認しながら江名小へ避難したほか、避難所開設訓練なども行われました。

避難所に向かう地域住民

江名幼稚園運動会開催

9月24日、江名幼稚園で秋の運動会が行われました。園児たちは、かけっこやダンス、親子競技などに臨み、元気いっぱい頑張る姿に、たくさんの拍手が送られました。

力を合わせて競技に挑む親子

日本の伝統芸能を鑑賞

9月14日、市公営住宅永崎団地集会所で「浜〇かふぇ」が開かれました。お茶会のほか、浜通り雅楽会による雅楽の演奏が披露され、約60名の来場者を魅了しました。

雅楽の演奏を堪能するみなさん

ふるさとの未来へ向けて

各種事業の実施に向けて着々と準備

メンバーが想定したルートを歩き、改善点や当日の流れなどを確認した「プレまち歩き」

9月5日、勿来と双葉の共生コミュニティデザイン事業が、双葉町役場いわき事務所で行われました。かるたの制作状況や、今後予定している、復興公営住宅への入居検討者向けのバスツアーについて、確認されました。

また、10月1日の「なこそまちあるき『くぼたんけん』」開催に向けて、9月10日には、イベントを企画した芝浦工大の学生や同事業のメンバーにより「プレまち歩き」を実施。10月1日の様子は、次号の「ふるさとだより」に掲載予定です。

私たちのふるさとへの願い

なこそ復興プロジェクト 円舘さん

関田団地　豊田さん・山名さん

地域とともに生きる

山田防犯協会
会長
瀬谷 一雄さん

地域のみんなで協力し、災害に強い町に

現在、防犯協会会長として山田町内のパトロールに努めています。震災当時には林崎地区の区長を務め、住民の安否確認や支援物資の配布をしていました。「同じ地域に住む仲間同士、大変な時は助け合わなきゃ」という気持ちでしたね。

今年9月24日に行われた市総合防災訓練では、林崎・大津地区が初の対象となりました。地域が一体となって災害に備えることは、やはり大切だと感じます。これを機に、一人ひとりの防災意識と住民の絆を深め、いざという時に支え、助け合えるような地域になればと思います。

9月24日の市総合防災訓練では災害図上訓練も行われ、要支援者の避難について意見を出し合う瀬谷さん(右から2番目)

勿来ピックアップ

山田地区で防災訓練実施

9月24日に実施された、市総合防災訓練。勿来地区では、山田町林崎・大津地区を対象に土砂災害を想定して行われ、57名の地域住民が山田公民館に避難しました。

勿来消防署員による防災講話も実施

緑あふれる沿岸部の再生

9月16日、錦町須賀地内で(公財)イオン環境財団による「福島県いわき市植樹」を実施。1.08haの土地に、クロマツや山桜などの6種、7,000本が植えられました。

地元の園児や住民など約700名が参加

万が一に備えて避難訓練

9月14日、汐見が丘幼稚園で地震発生を想定した避難訓練を実施。園児は園庭から隣接する汐見小の校庭へ避難し、その後、保護者への引渡し訓練も行われました。

校庭へ避難後、先生の話を聞く園児

ふるさとダイアリー

四倉　練習の成果を発揮した音楽祭

P2でも紹介した方部音楽祭。大浦小の4年生31名は人気SF映画のメインテーマ曲を力強く演奏し、四倉小の4年生60名は、アメリカで大ヒットしたポピュラー音楽を披露しました。客席では保護者らが児童たちの奏でるメロディに耳を傾け、演奏が終わると大きな拍手を送りました。

息の合った演奏を見せた四倉小

大舞台に臆せず演奏する大浦小

平　家族・地域に感謝

8月20日、平方部小中学校PTA親善球技大会が中央台北中で行われ、豊間小・中合同女子バレーボールチームが優勝しました。「昨年優勝したチームとして、6月から週2回練習を重ね、家族や地域のスポーツ少年団、豊間中バレー部の協力、どれが欠けても優勝できなかった」と大峯紀子監督は話していました。

大峯監督(左)と日向寺マネージャー

2連覇を遂げた合同チーム

勿来　団地のみんなで防火を学ぶ

9月5日、「映像でみる防災講話と、消火器の使い方」と題して、市公営住宅関田団地集会所で防火訓練が行われました。勿来消防署から3名の署員を招き、火災についてのDVD鑑賞や質疑応答を実施。その後、水消火器を使っての消火訓練も行われ、参加者は防火に関する知識を深めました。

勿来消防署員による防災講話

消火器の使い方を学ぶ参加者

小名浜　永崎団地で交流イベント

9月2日、市公営住宅永崎団地集会所で、江名中吹奏楽部による演奏交流会が行われました。歌謡曲や演歌などが披露され、賑やかな時間を過ごしました。

また、9月6日には、健美療術師協会によるリラクゼーションサロンを実施。住民は体のコリをほぐしてもらい、日頃の疲れを癒しました。

参加住民のために演奏する江名中生

整体でリラックスする参加者たち

「笑う」という健康法

古扇亭唐変木さんによる落語

9月16日、江名女性の会が、住民に大きな声で笑ってもらおうと、江名区集会所にいわき芸能倶楽部を招きました。古扇亭唐変木さんの落語と悠雲さんのジャグリングが披露され、会場は、笑顔と笑い声に包まれました。

久之浜・大久　再開された運動場で球技大会

8月27日、第35回北東地区子ども会親善球技大会が開かれ、男子はソフトボール、女子はフットベースボールの熱戦が繰り広げられました。会場となった久之浜市民運動場は、震災後、災害廃棄物仮置場として使用されていましたが、今年4月の一般利用再開後、最大のイベントとなりました。

優勝した久一小エンジェルズ

随所に見られたはつらつプレー

いわき市ふるさとだより
No. 77
平成29年10月20日発行
●発行:いわき市 ●編集:有限会社 いまぁじゅ ふるさとだより編集室
●編集室:〒973-8411 福島県いわき市小島町3丁目3-3 プリンセス・アイ1F
Tel&Fax:0246-26-5157
Mail:furusato@asally.co.jp http://www.furusatodayori.com

お知らせ

津波災害時における自動車避難について 市防災会議　初のガイドライン作成

平成28年11月22日午前5時59分に発生した震度5弱の地震により、震災後初めてとなる津波警報が発表されました。その際、自動車での避難行動をとった方が多く見られ、道路渋滞が発生したことが課題となりました。

そこで市では、平成29年1月から、国・県の道路管理者や市内警察3署等を構成員とする「津波災害時における自動車避難検討部会」を設置し、津波発生時の避難のあり方を検討してきました。4回にわたる会議を重ね、津波発生時の避難について、原則は徒歩としながら、半径500m以内に高台などがない場合や、要配慮者など徒歩での避難が困難な場合など、やむを得ず自動車で避難する場合は津波浸水想定区域より内陸部へ避難することを方針とするガイドラインを作成。8月29日に市文化センターで開かれた市防災会議にて、内容が了承されました。

また、9月24日に市内各地で行われた市総合防災訓練では、藤間区・下高久区・神谷作区・沼ノ内区を対象に、自動車での避難訓練が行われました。

なお、今後も随時検討部会を開催し、より良い避難方法について検討が進められます。

要介護者の避難のために車に家族を乗せる参加者(沼ノ内区)

【問い合わせ】
市危機管理課
☎0246−22−7551

ふるさと伝言板

復興・久之浜漁港まつり2017

日時／10月29日(日)
9:00〜
場所／久之浜漁港

第2回海まち・とよま フォトコンテスト 作品展示

日程／11月18日(土)〜
平成30年1月31日(水)
場所／とよマルシェ内
「豊間屋」

住まいと暮らしの再建相談会

日時／11月11日(土)
／11月26日(日)
①10:00 ②13:00
③15:00 (各90分程度)
場所／中央台公民館
大会議室(1)(2)
定員／9組(各時間3組)

◆お申し込みは開催日の3日前まで。

【問い合わせ】市ふるさと再生課
☎0246-22-7437

ふるさとPICK UP

千住真理子さんバイオリンリサイタル

日本を代表するバイオリニスト・千住真理子さんが9月8日に久之浜・大久ふれあい館、9日に薄磯修徳院でリサイタルを開きました。「追悼と祈りの気持ちを込めて弾きます」と語った千住さんの演奏に、涙を流す聴衆の姿も見られました。

素敵な音楽とトークでクラシックの世界へ誘った千住さん

砂子田団地「健康相談会と薬のあれこれ」

9月10日、内郷砂子田団地集会所で、市社会福祉協議会主催の「健康相談会と薬のあれこれ」が開かれました。いわき明星大学看護学部学生と教員による血圧測定とストレスチェックなど、薬剤師による薬についての講話や相談が行われました。

和やかな雰囲気で行われた健康相談会

担当記者が振り返る「ふるさとだより」のあゆみ

〜平成24年度:四倉地区担当　吉田靖〜

防潮堤や防災緑地の会議や、2年ぶりに復活した四倉ねぶたの制作の様子、新しい建物で営業を再開した道の駅よつくら港などを取材しました。特に7月の祭り当日、商店街を力強く練り歩くねぶたの勇姿と、町に響く「ラッセラー」の掛け声など、熱気を帯びた四倉の夏の夜を、今でも鮮明に覚えています。

次号では久之浜・大久地区担当者が語ります。

平成24年度11月号の表紙

2年ぶりに町を練り歩いたねぶた

動画の見方

①アプリをダウンロード

Download on the App Store
GET IT ON Google Play

②アプリを立ち上げ、パンダマークのある写真にスマホをかざす。
③自動的にスキャンが始まる。
④認識されたら、動画を再生。

※画像に光が反射しないようにスキャンしてください！